

山形済生病院では・・・

近年、少子化が進み母児共に安全な分娩が求められており、当院では骨盤位での分娩様式は帝王切開術としています。

これまでは、膝胸位での骨盤位矯正を実施していましたが、妊娠早期より骨盤ケアを実施することで、骨盤や身体のゆがみを整え、骨盤位が矯正されるという見解のもと、骨盤ケアによる骨盤位矯正を導入・定着させることで「骨盤位の帝王切開術を減少させたい」と強く考えるようになりました。そこで平成24年1月より統一した骨盤ケアを実施し、今回の研究発表・結果となりました。

少しでも早い時期から骨盤ケアを実施して効果を高めるには医師との連携は不可欠です。

■山形済生病院のHPはこちら <http://www.ameria.org>

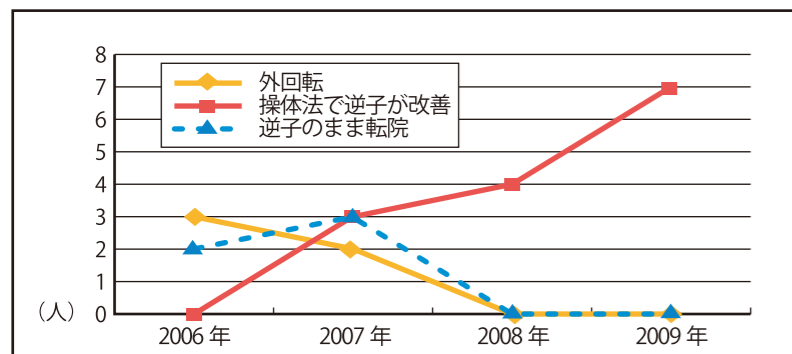
分娩時出血量に関連する過去の発表データ

逆子での転院が0件に

骨盤ケアを導入し助産院での安全快適な分娩を実現

和歌山県田辺市 ちひろ助産院 院長 大平昌子
2010年3月20日 日本助産学会 ランチョンセミナー 抄録より

骨盤位（逆子）の推移



開業以来骨盤ケアに取り組んで4年目、逆子の改善も著明なことがわかりました。2008年からは、外回転はまったく行っていませんが、逆子は骨盤ケアで改善しました。

このことを口コミで知り、「逆子体操だけを教えて」と来院する人も増えました。

総合病院では、逆子は全例帝王切開となるので、それが減少するだけでも、病院の負担が少なくなりますし、その分助産院もフォローが受けやすいのでお互いに助かります。

※発表内容は青葉ホームページで公開しています。 <http://tocochoan.jp/>

安産と楽チン子育てを科学する トコちゃんの 骨盤&ベビー

メンテカ^{アップ}セミナー



講師：渡部信子先生

<5時間半×2日間コース>

1日目は、身体の痛みや不調・妊娠分娩異常を引き起こす原因など「骨盤ケア」の講義と、座位、立位で出来る実習。

2日目は、ゆがみを整える体操や操体法、骨盤高位でトコちゃんベルトなどの着用実習、分娩中～分娩直後の骨盤ケア法の実習、赤ちゃんの抱っこ基本などの実習。

「参加するたびに学びが深くなる」充実した内容のセミナーです。

対象 医療・保育従事者や関連の方
(助産師・看護師・准看護師・保健師・保育士 etc)

主催：(有)トコ企画 <http://tocokikaku.com/>
協力：(有)青葉

全国で骨盤ケア教室 拡大中！

「骨盤ケア」に取り組まれている助産師・看護師さんが中心となって、施設内で「骨盤ケア教室」を実施されている施設が増えています。

また、(有)青葉の関連会社トコちゃんドットコムでも、トコちゃんベルトの着用方法やゆがみをととのえる体操などを学んでいただける「トコちゃんの骨盤ケア教室」を各地で展開中です。

トコちゃんベルトアドバイザー以上の資格を持った助産師さんが講師となって、妊婦さんを対象に約2時間の教室をしています。

山形・東京・茨城・愛知・京都・大阪・広島・福岡・熊本・鹿児島で行っており、今後も続々と増えていく予定です！

<http://tocochoan.com/>

協力：(有)青葉



骨盤ケアを統一して 骨盤位による帝王切開率が減少

日本母性衛生学会総会・学術集会にて 「骨盤位による帝王切開率減少」と発表

第53回日本母性衛生学会総会・学術集会(2012年11月16日(金)・17日(土) 福岡開催)の発表をご紹介します。

骨盤位矯正における骨盤ケアの有用性について

社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院
芦野 美香・沼津 彩子・小野 朋美

はじめに

骨盤ケアを実施することで、骨盤や身体のゆがみを整え、骨盤位が矯正される。

平成22年より骨盤ケアを積極的に実施してきた。平成24年1月より統一した骨盤ケア(=骨盤調整の操体法、膝倒しの操体法、さらしによる骨盤輪支持)を開始した。

骨盤ケアによる骨盤位矯正を導入・定着させることで骨盤位の帝王切開術を減少させたい。

骨盤位矯正における骨盤ケアの有用性を調査する。

研究方法

1. 対象：

- ・平成22年(骨盤ケアを導入したがケアの統一がされていない時期)に分娩した産婦863名
- ・平成24年1月～6月(統一した骨盤ケアがされた時期)に分娩した産婦404名

2. 方法：

平成22年は助産録、カルテより情報収集した。平成24年1月からは、骨盤ケアを統一するためにスタッフへの勉強会を開催した。医師へ妊娠20週以降に骨盤位を指摘された妊婦を骨盤ケアにまわしてもら

うよう依頼し、統一した骨盤ケアを指導した。その後の胎位をカルテより追跡調査した。

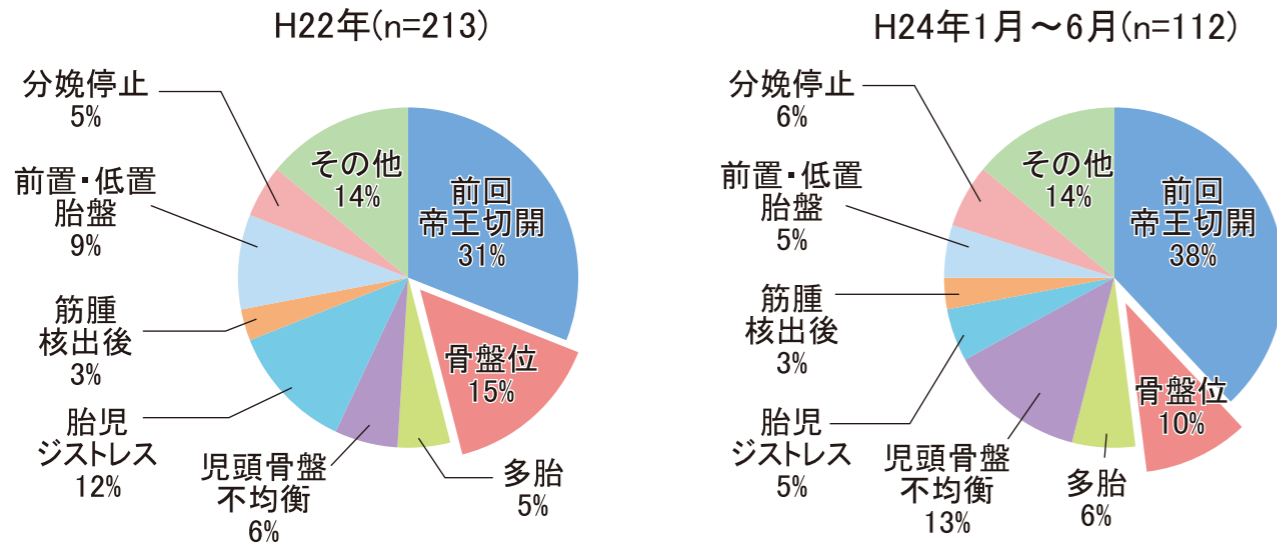
3. 倫理的配慮：

データや資料を厳重に管理し個人情報を保護する。また個人や対象集団の特定につながる情報の記載がないよう努める。

骨盤ケアを指導した妊婦に、個人が特定されないこと、研究協力は自由意志に基づいて判断し、調査に参加しなくても不利益は生じず、研究目的以外に使用しない旨を同意書に記載し、署名をもって同意を得たと判断した。

結果

～帝王切開術の適応の比較～



平成22年(骨盤ケアが統一されていない時期)

骨盤位判明後、骨盤ケアを実施して頭位に戻った妊婦は、平均**26週**でケアが開始されていた。

骨盤位判明後、骨盤ケアをし頭位に戻った週数は平均**31週**であった。

骨盤ケア後も、骨盤位が矯正されずに帝王切開術になった妊婦は平均**31週**にケアが開始されていた。

平成24年(骨盤ケアを統一した時期)

骨盤位判明後、骨盤ケアを実施して頭位に戻った妊婦は、平均**27週**でケアが開始されていた。

骨盤位判明後、骨盤ケアをし頭位に戻った週数は平均**31週**であった。

骨盤ケア後も、骨盤位が矯正されずに帝王切開術になった妊婦は**7名**であった。

⇒なぜ、骨盤位が戻らなかったのか？

骨盤位矯正されなかった7名の背景

	初経産	さらし指導週数	操体法指導週数	骨盤位指摘週数	特記事項
A	経産	34	34	32	34週より当院に紹介
B	初産	23	23	23	筋腫合併
C	初産	27	27	23	頸部巻絡2回
D	経産	27	27	23	頸部巻絡1回
E	初産	30	30	(30)	30週より当院に紹介
F	初産	30	30	(30)	30週より当院に紹介
G	初産	23	23	23	なし

考察

■平成24年1月～6月、統一した骨盤ケアを行った。

→平成22年と比較し、骨盤位による帝王切開率が15%から10%へ減少

統一した骨盤ケアを行ったことが骨盤位による帝王切開率減少につながった

■平成22年、24年ともに平均26～27週までに骨盤ケアを開始した妊婦は、骨盤位が矯正されやすい。

26～27週までには骨盤ケア介入が望ましい

■骨盤ケアを開始した週数が31週をこえると、骨盤位は矯正されにくい。

骨盤位矯正においては31週で骨盤ケアを開始するのは遅い

妊娠週数の早い時期に骨盤ケアをすることで、骨盤位が戻りやすいのではないかと

■里帰りや他院からの紹介

→骨盤ケアの開始が遅くなったため、骨盤位が矯正されにくい。

妊娠期における骨盤ケアの普及

■筋腫合併や臍帯巻絡などの要因で、骨盤位が矯正されにくい。

骨盤ケアを実施しても骨盤位が矯正されない場合もある

結論

- ・骨盤ケアを統一して指導した結果、骨盤位による帝王切開率は15%から10%に減少した。
- ・妊娠26～27週までに骨盤ケアを実施して子宮環境を整えていくことが骨盤位矯正につながる。
- ・妊娠31週以降では骨盤ケアをしても骨盤位は矯正されにくい。
- ・妊娠期における骨盤ケアの普及が望まれる。